



2025年3月期 決算補足説明資料

2025年5月14日

証券コード **5161**

西川ゴム工業株式会社
NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.

目次



1 会社概要

2 2025年3月期 決算概要

3 2026年3月期 業績予想

4 トピックス

1

会社概要



会社概要

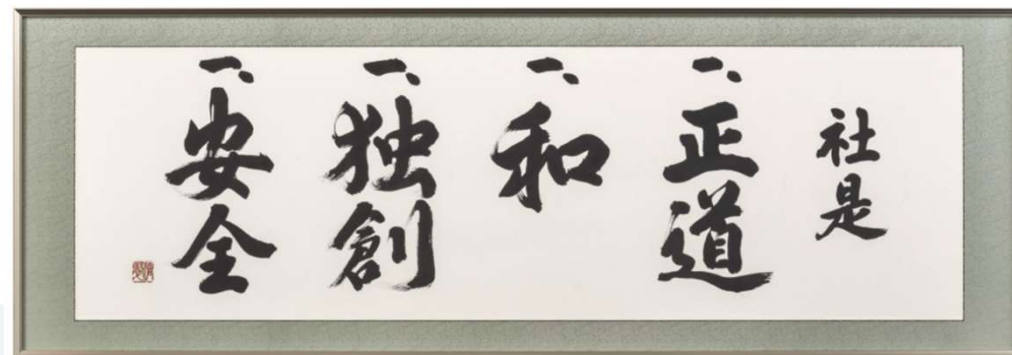


商 号	西川ゴム工業株式会社 (NISHIKAWA RUBBER CO., LTD.)
本 社	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
創 立 日 年 月 日	1934年12月1日 西川護謨工業所として創立 1949年4月26日 株式会社に組織変更、 商号を西川ゴム工業株式会社に改称
代 表	代表取締役社長 小川秀樹
資 本 金	3,364,480,660円
市場区分	東証スタンダード市場 (証券コード 5161)
従業員数 (連結)	6,807名 (2025年3月末時点)
事業内容	自動車用シール材及び一般産業資材製品の 設計・開発、製造、販売

拠点一覧



- | | |
|--|--|
| ① NISHIKAWA COOPER LLC (米国) | ⑦ 湖北西川密封系統有限公司 (中国) |
| ② Nishikawa of America, Inc. (米国) | ⑧ NISHIKAWA SEALING SYSTEMS MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ) |
| ③ Nishikawa Tachapalalert Cooper Ltd. (タイ) | ⑨ PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA (インドネシア) |
| ④ 上海西川密封件有限公司 (中国) | ⑩ NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD. Europe Branch (英国) |
| ⑤ 広州西川密封件有限公司 (中国) | ⑪ ALP NISHIKAWA CO., PVT. LTD. (インド) ※持分法適用会社 |
| ⑥ 西川橡胶(上海)有限公司 (中国) | |



正道

我々は 常に正道に立って社業を運営し
会社の真の発展は社会の福祉 世界の進運に
寄与しうるものでなければならない

独創

我々は 企業の生命が独創と意気にあることを認知して
自らの仕事に誇りと責任を持ち
また反面事を処するに当っては 謙虚な気持でこれに向わねばならない

和

我々は 共に会社の根幹であることを認識して
「和の心」をもって相寄り相助け
互いに善意と良識をもって一致協力することが 何より大切である

安全

我々は 各個人の幸福が 会社全体の繁栄を基盤にして
初めてきずかれることを知りすべて会社の組織を重んじ
規律に従い冗費を省き 災害防止に万全を期し
もって堅実にしてまじめな
また自由にして秩序正しい社風を培ってゆくことが必要である

ニーチェの言葉

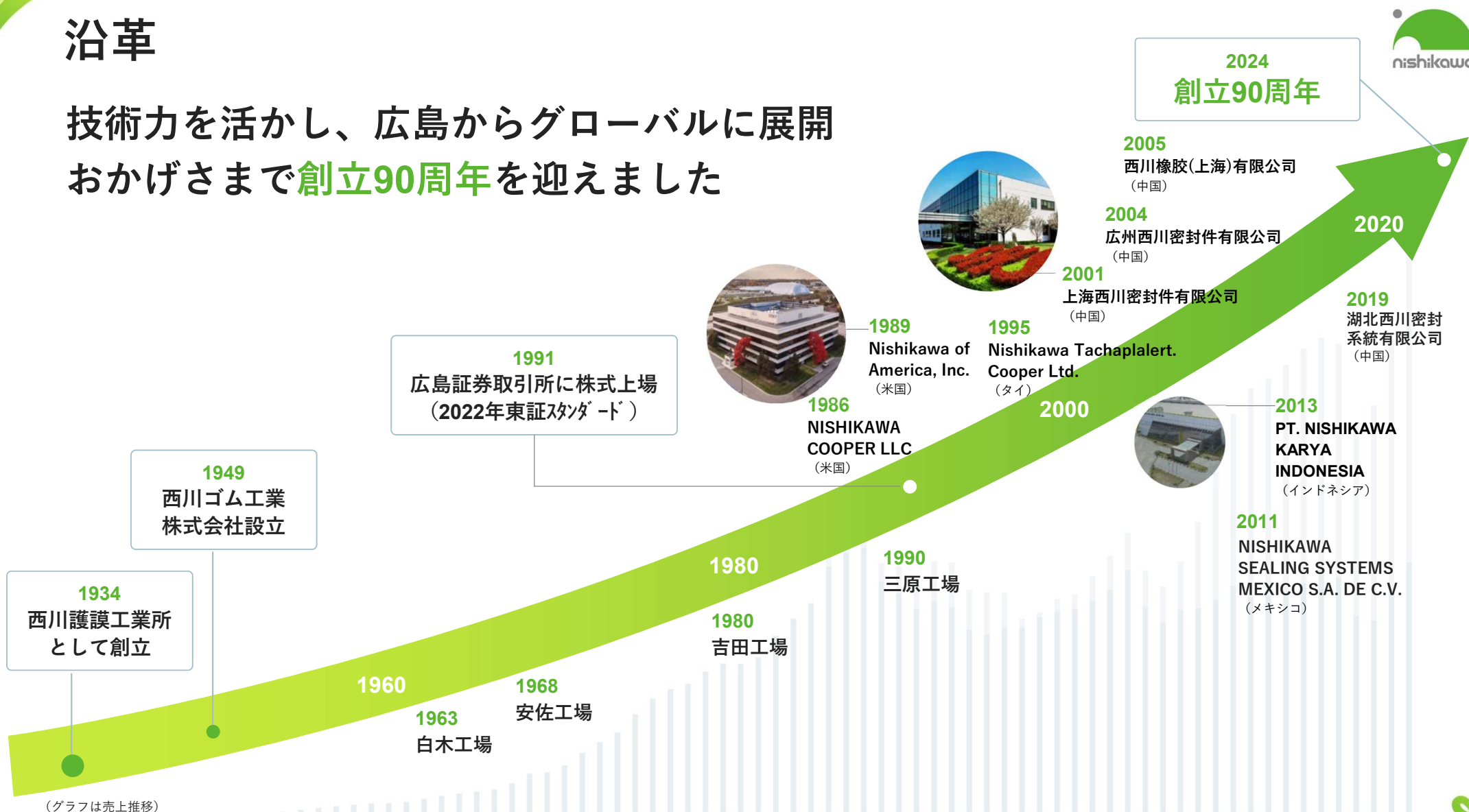
己の立てる所を深く掘れ
そこに必ず泉あらん



Friedrich Nietzsche.

沿革

技術力を活かし、広島からグローバルに展開
おかげさまで**創立90周年**を迎えました



主要製品/取引先

一般産業資材事業

自動車用部品事業で培った
発泡技術を様々な分野で展開



目地ガスケット



化粧用パフ

3%

97%

事業別
売上比率
(2024年度)

自動車用部品事業

自動車のドアシール製品分野
業界国内トップシェア

(当社調べ)



ドアアウターシール



ドアアウターシール
(オープンカー用)



ガラスランチャネル



コンバーチブルヘッダー
(オープンカー用)

取引先別売上比率

(2023年度実績)

Toyota	Honda	MAZDA	Nissan	その他
24%	22%	13%	12%	29%

業界でのポジション



独立系サプライヤーとして培った技術力で、グローバルニッチトップ企業へ

国内

日本車への当社製品シェア率

43%

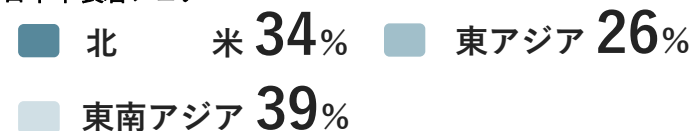
(当社調べ)



海外

日系自動車メーカーを中心に売上を拡大

日本車装着シェア



※シェアは、日本車の内、当社製品が装着されている割合を示す（当社調べ）

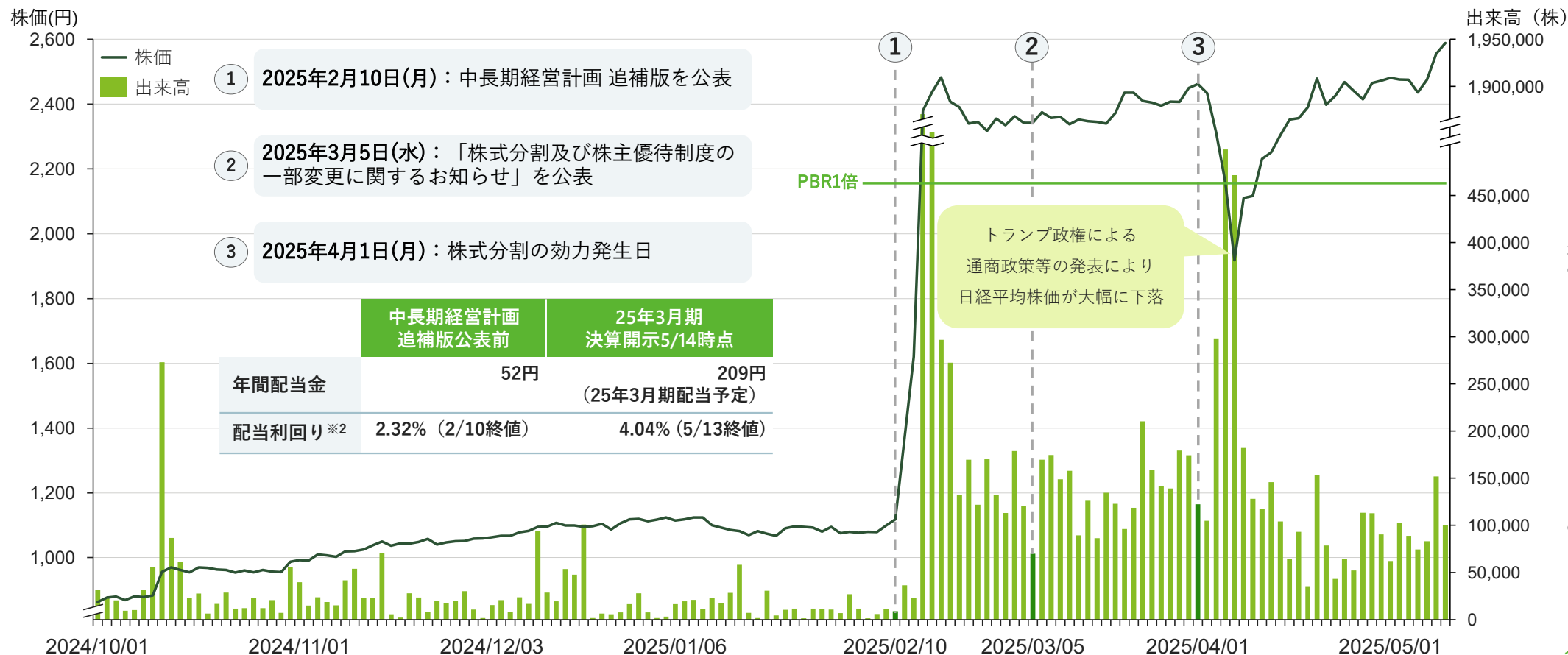


注：シェア率については、2025年2月10日公表『2030 年 グローバル中長期経営計画』追補版より表示しております（2025年3月期 見込値）。

株価および出来高の推移



2025年2月10日に『2030年 グローバル中長期経営計画』の追補版を公表後、PBR1倍を達成
2025年4月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施



注1：上記株式分割に伴い、2025年3月27日以前の株価および出来高はいずれも分割後ベースで調整した数値を使用

注2：配当利回りについては、株式分割後ベース（追補版公表前においては52円/2=26円、25年3月期決算開示5月14日時点においては209円/2=104.5円）に換算のうえ算出しています

2

2025年3月期 決算概要



2025年3月期 決算ハイライト



- 連結売上高は過去最高を記録、円安による北米の売上増加
- 北米事業改善により営業利益は2期連続増益

売上高

4期連続増収

1,206億円

前年同期比 **+2.3%**

営業利益

2期連続増益

73億円

前年同期比 **+11.7%**

経常利益

2期ぶり減益

76億円

前年同期比 $\triangle$ **14.6%**

親会社株主に帰属する 当期純利益

2期ぶり減益

39億円

前年同期比 $\triangle$ **21.5%**

2025年3月期 連結業績



(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率
売上高 (百万円)	117,904	120,639	2,734	2.3%
営業利益 (百万円) (営業利益率)	6,555 (5.6%)	7,324 (6.1%)	768	11.7%
経常利益 (百万円)	8,920	7,617	△1,303	△14.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,038	3,957	△1,081	△21.5%
ROE	6.4%	4.6%	△1.8%	—
ROIC	4.4%	4.7%	0.3%	—
自己資本比率	61.4%	63.5%	2.1%	—
< 参考 > PBR	0.46倍	1.08倍		

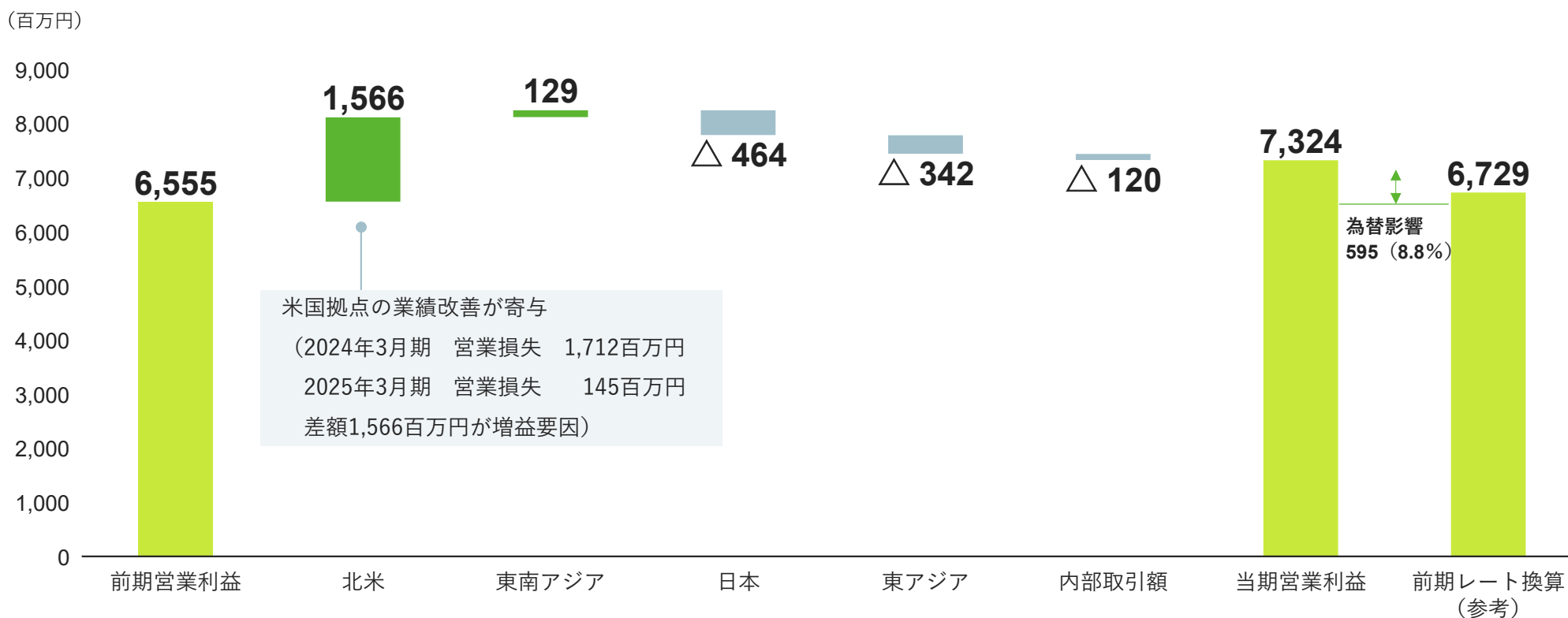
注：為替レート (対米国ドル/円)

2023年12月末 141.83円
2024年3月末 151.41円

2024年12月末 158.18円
2025年3月末 149.52円

営業利益の増減要因

日本・東アジアセグメントでは前期比減益となったものの、北米セグメントの米国拠点の業績改善が寄与し、全体では前期比増益。為替影響は595百万（8.8%）

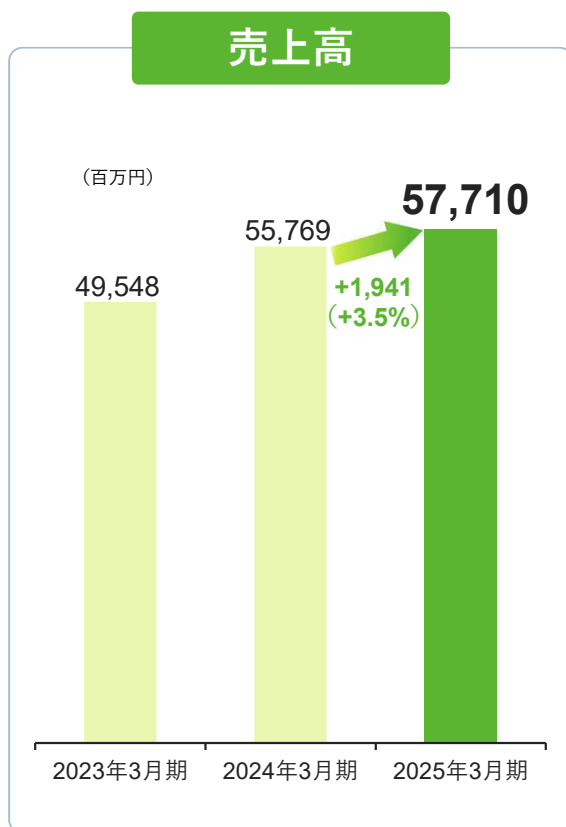


セグメント概況（日本）

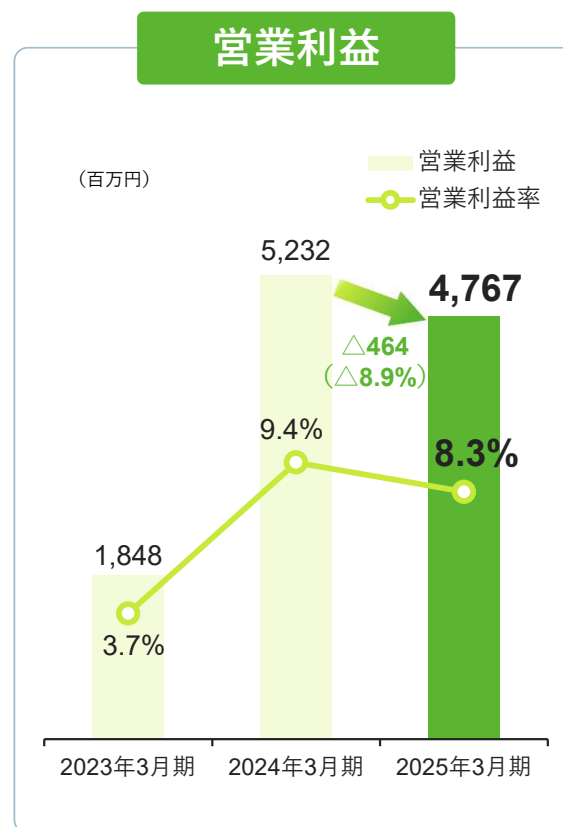
売上高は1,941百万円増加し、57,710百万円
営業利益は464百万円減少し、4,767百万円



売上高



営業利益

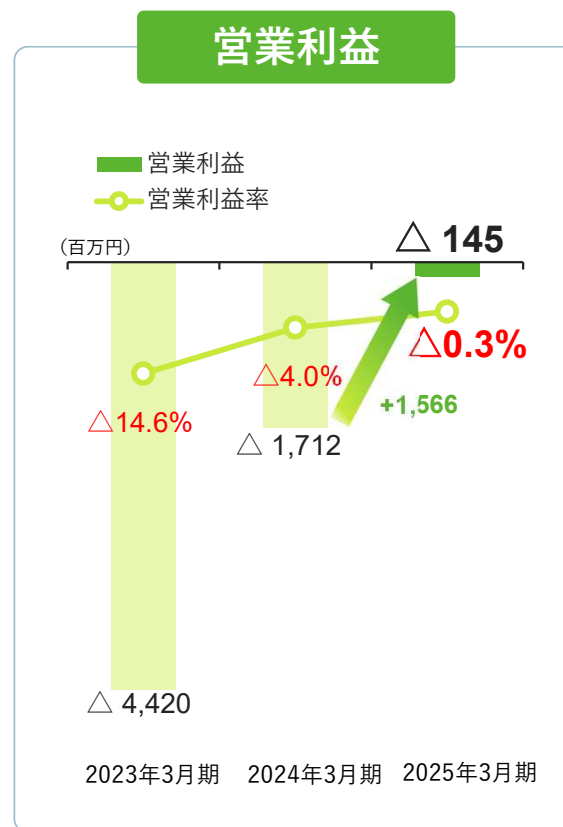
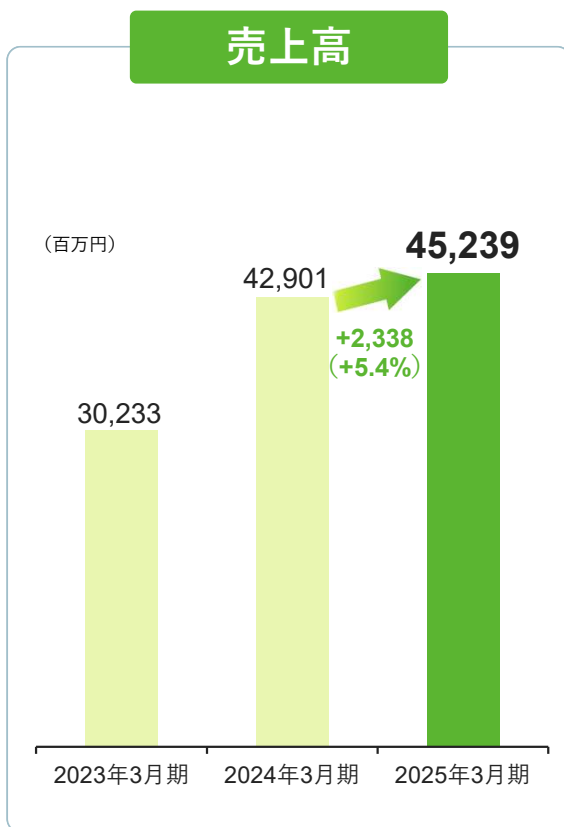


2025年3月期概況

自動車生産台数が前期比で減少したものの、当社受注車種の影響などにより、売上高は57,710百万円（前期比3.5%増）となりましたが、内部統制強化プロジェクト対応のための支出や、賃金の引き上げ等が影響し、営業利益は4,767百万円（前期比8.9%減）となりました。

セグメント概況（北米）

売上高は2,338百万円増加し、45,239百万円
営業利益は損失が1,566百万円減少し、△145百万円



2025年3月期概況

自動車生産台数が前期比で減少したものの、当社受注車種および為替の影響などにより、売上高は45,239百万円（前期比5.4%増）となりました。

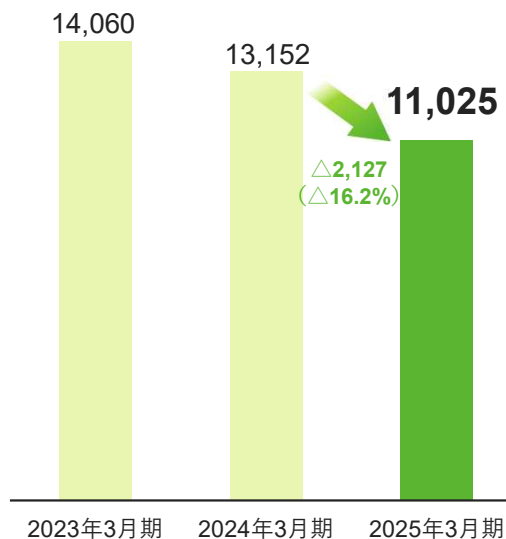
営業利益は米国拠点の回復により前期よりも改善しましたが、メキシコ拠点の業績が影響し、△145百万円（前期は△1,712百万円）となりました。

セグメント概況（東アジア）

売上高は2,127百万円減少し、11,025百万円
営業利益は342百万円減少し、365百万円

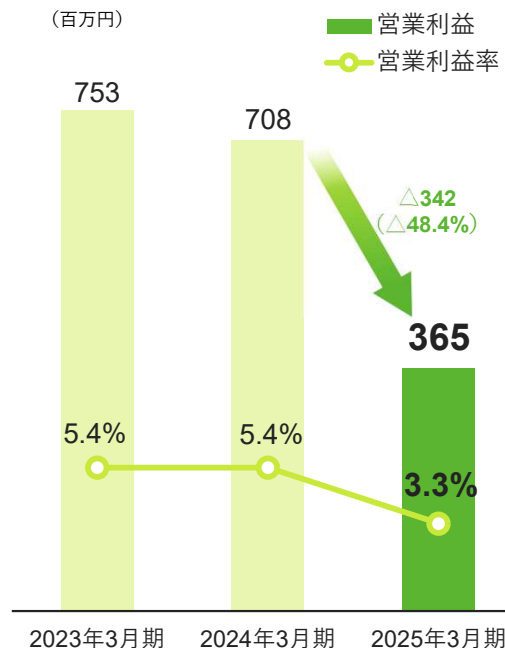
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



2025年3月期概況

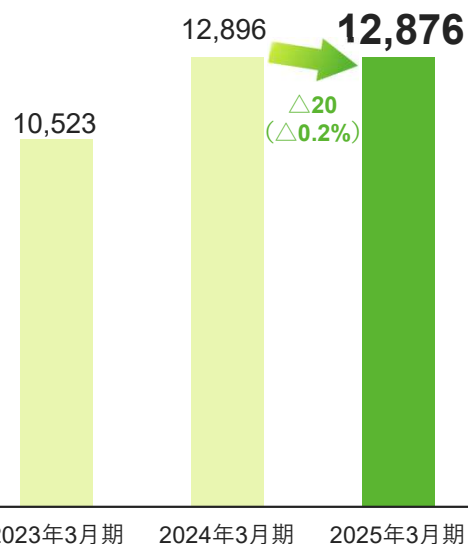
自動車生産台数が前期比で増加しましたが、当社の受注車種が減少したことにより、売上高は11,025百万円（前期比16.2%減）となり、営業利益は365百万円（前期比48.4%減）となりました。

セグメント概況（東南アジア）

売上高は20百万円減少し、12,876百万円
営業利益は129百万円増加し、2,542百万円

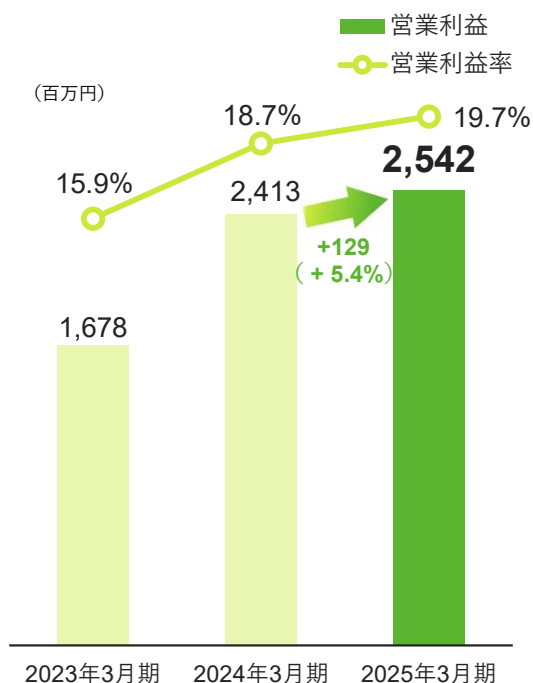
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



2025年3月期概況

自動車生産台数が前期比で減少したことなどにより、売上高は12,876百万円（前期比0.2%減）となりましたが、インドネシア拠点の業績改善により、営業利益は2,542百万円（前期比5.4%増）となりました。

貸借対照表（連結）



(百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期末	増減額
現金及び現金同等物	43,262	47,808	4,546
売掛債権及びその他債権	16,897	16,796	△101
棚卸資産	8,243	7,354	△888
有形及び無形固定資産	31,575	31,004	△570
投資その他の資産	37,753	35,436	△2,316
資産合計	137,732	138,400	668
買掛債務	10,885	10,122	△762
借入債務	18,614	18,426	△188
その他債務	20,721	18,130	△2,590
負債合計	50,221	46,679	△3,542
株主資本	63,512	66,543	3,030
その他包括利益	21,029	21,392	363
非支配株主持分	2,968	3,785	817
純資産合計	87,510	91,721	4,211
負債・純資産合計	137,732	138,400	668

キャッシュ・フロー



(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減額	主な要因
営業CF	14,884	9,243	△5,641	・法人税等の支払額が増加
投資CF	△5,159	△ 4,342	817	・有形固定資産の取得による支出が減少
財務CF	△9,403	△ 2,877	6,526	・長期借入金の返済による支出が減少
換算差額	1,174	977	△197	
現金及び現金 同等物期末残高 ※3か月超の預金を除く	38,591	41,592	3,001	

3

2026年3月期 業績予想



2026年3月期 業績予想



米国通商政策および為替等の影響により売上高は減収、営業利益は減益を見込む

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減率
売上高（百万円）	120,639	110,000	△10,639	△8.8%
営業利益（百万円） （営業利益率）	7,324 (6.1%)	6,600 (6.0%)	△724	△9.9%
経常利益（百万円）	7,617	8,000	383	5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,957	4,200	243	6.1%
1株当たり当期純利益（円）	102.49	108.77	6.28	—

注1：為替レート（対米国ドル/円）

2024年12月末 158.18円

2025年3月末 149.52円 2026年3月期 想定レート 147.00円

注2：当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益（円）を算定しております。

Copyright NISHIKAWA RUBBER CO., LTD. All Right Reserved.

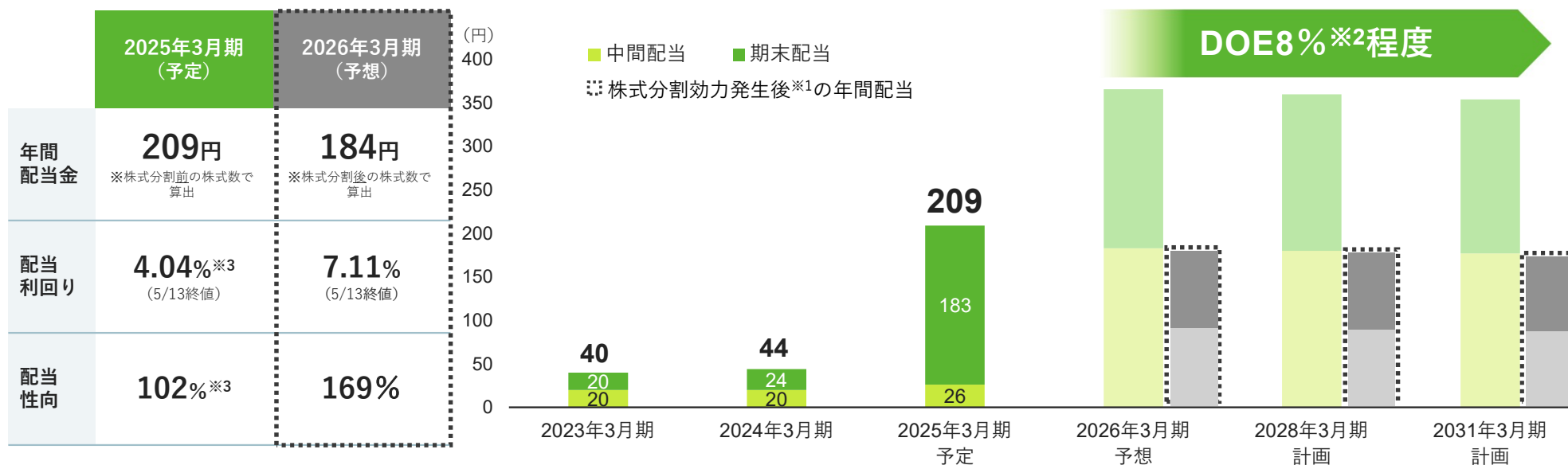
株主還元



配当方針

2025年3月期から毎期 DOE 8% 程度の配当

当第4四半期からの配当方針の変更となるため、2025年3月期の期末配当は半期分となるDOE4%を予定しております



自己株式取得

2026年3月期から6年間で発行済株式総数の6%実施

注1：2025年3月31日を基準日、2025年4月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております

注2：中間・期末それぞれの株主資本等に対して4%を乗じて中間配当・期末配当額を決定しているため、年間合計のDOEは結果として8%を若干上回る、または下回る場合があります

注3：2025年3月期 配当利回り・配当性向については、2026年3月期予想との比較可能性を確保するため、株式分割後ベース（209円/2=104.5円）に換算のうえ算出しています

4

トピックス

TOPICS

トピックス

EcoVadis 社のサステナビリティ評価「ブロンズメダル」 取得

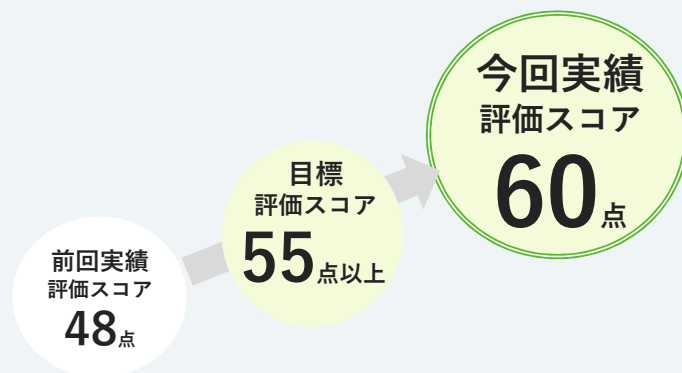
国際的な評価機関である EcoVadis 社（本社：フランス）による
2025 年サステナビリティ評価において、上位35%の企業に付与される
「ブロンズメダル」を取得しました。



※EcoVadis（エコバディス）

世界各国で15万社以上に対してサステナビリティ評価を提供している評価機関。EcoVadis社の実施するサステナビリティ評価は、「環境」「倫理」「労働と人権」「持続可能な資材調達」の4つのテーマに対し一定の水準を満たした企業にメダルが与えられる。当社グループでは2017年より継続的に評価を受けており、ブロンズメダルは今回が初の取得。

目標と実績



当社の主な取り組み

環境リスクに関するコミットメントと
CSR報告書での情報発信



労働と人権に関するリスクの
取り組みをグループ全体に拡大



海外含む各グループ会社から当社経営層への
サステナビリティKPIの定期報告体制を整備



トピックス

健康経営優良法人2025（大規模法人部門（ホワイト500））初認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人」において、大規模法人部門の応募企業総数3,869社中、上位500社に与えられる「ホワイト500」に初めて認定されました。



当社の主な取り組み

・ 疾病・重症化予防活動

- ・ 健康診断で所見があった社員へ再検査受診の勧奨活動実施（受診率89%：2024年度実績）
- ・ 生活習慣病予防のため、特定保健指導実施（実施率90%：2024年度実績）
- ・ 過重労働抑制のため、1カ月残業80時間超え及び3カ月連続45時間超えの社員に産業医との面談を実施
- ・ 社内保健師から「健康ひとくちメモ」を毎月発行

・ メンタルヘルスケアと健康保持増進活動

- ・ ストレスチェック後の集団分析結果から職場環境改善実施
- ・ 社外専門家による全事業所への定期的な訪問面談
- ・ リラックス効果、集中力向上による業務改善を目的にオフィスBGMを導入（本社社屋）
- ・ 年2回の全社員対象ウォーキングイベント実施

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

問い合わせ先責任者

常務取締役
コーポレート統括本部長

休石 佳司

IR窓口

総務部長

山本 隆司

 082-237-9371